

大学院の情報を より詳しく調べたい方へ

大学院の紹介

- 人間社会科学研究科
- 先進理工系科学研究科
- 統合生命科学研究科
- 医系科学研究科
- スマートソサイエティ実践科学研究院



大学院生支援プロジェクト

広島大学は、研究に対する意欲を有し、我が国の科学技術・イノベーション創出の重要な担い手となる大学院生をサポートします。

- 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム
- 広島大学創発的次世代AI人材育成・支援プロジェクト
- 広島大学女性科学技術フェローシップ制度



大学院入試に関するお問合せ



広島大学

広島大学教育室
コラボレーションオフィス
お問い合わせ E-mail : leading-program@office.hiroshima-u.ac.jp
〒739-8514 広島県東広島市鏡山1-7-1

2026年2月発行

持続可能な未来に向けて

先駆者であれ。

WE CAN INNOVATE.

未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業

「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界的大学院教育拠点形成
～日本のイノベーションを推進するリーダーとなる博士人材の育成～



広島大学

未来を切り拓く広島大学の挑戦

— 世界的大学院教育拠点へ

このたび広島大学は、令和7年度文部科学省「未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業」に、全国で4大学、西日本で唯一採択されました。本学が掲げる理念「持続可能な発展を導く科学」を実践し、世界に開かれた大学院教育拠点を形成する大きな一歩です。

本学は、1945年の原爆の惨禍から立ち上がり、「自由で平和な一つの大学」を建学の精神として歩んで参りました。創立75周年、前身の白鳥学校から数えて150周年を経て、次の時代に求められるのは、解のない難題に挑み、未来を切り拓く総合知です。本事業では、徹底した国際拠点形成と産学連携教育を通じて、豊かな学識と国際性、高度な実践力を備えた博士人材を育成します。

国際拠点形成では、ASEAN・南アジア・アフリカ諸国と欧米諸国をつなぐ国際ハブ大学として、教員・学生の派遣と受入を通じた国際交流を推進し、世界水準の教育・研究環境を整備します。さらに、地域共創の観点から、企業や自治体と連携し、産学連携教育を展開します。こうした取り組みは、グローバルな視野と地域に根ざした実践力を兼ね備えた人材育成につながります。

世界的ネットワークと地域との共創を両輪に、本学は博士課程教育の質を飛躍的に高め、イノベーションを牽引するリーダーを輩出します。これは単なる教育改革ではなく、日本の科学技術と社会の未来を担う挑戦です。

広島大学は変革を恐れず、世界的大学院教育拠点を形成します。

皆さまのご理解とご支援を賜りながら、次世代を担う人材育成に全力を尽くして参ります。

広島大学長

越智光夫
Mitsuo Oschi



WE CAN INNOVATE

成長し続ける広島大学

地域に愛され、世界から選ばれる大学へ

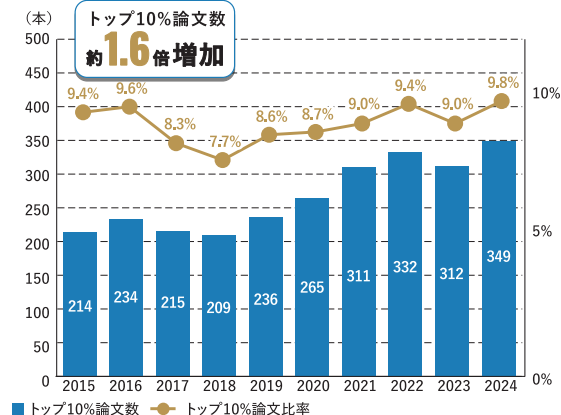
研究力

トップ10%論文数

「トップ10%論文数」は、世界中の論文のうち、被引用数が上位10%に入る論文の数。「その分野・その年において、特に多く引用された“影響力の高い論文”が何本あるか」を示す指標で、過去10年間で約1.6倍に増加しています。

2015年
214本

2024年
349本



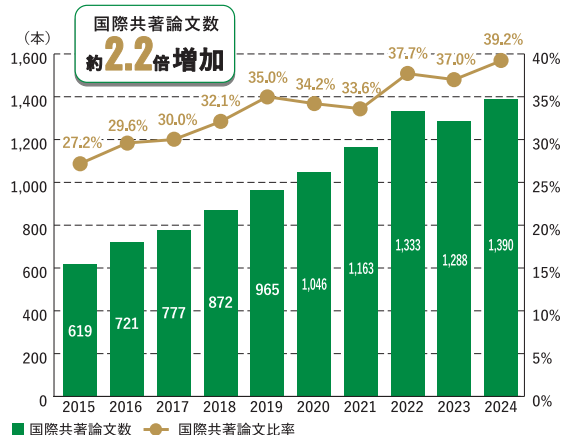
国際力

国際共著論文数

「国際共著論文数」は、複数の国・地域に所属する研究者が共同で執筆した論文の数。国際的な研究連携の活発さ、海外研究者とのネットワーク力、国際共同研究を推進できる研究環境・体制などを評価する指標で、過去10年間で約2.2倍に増加しています。

2015年
619本

2024年
1,390本



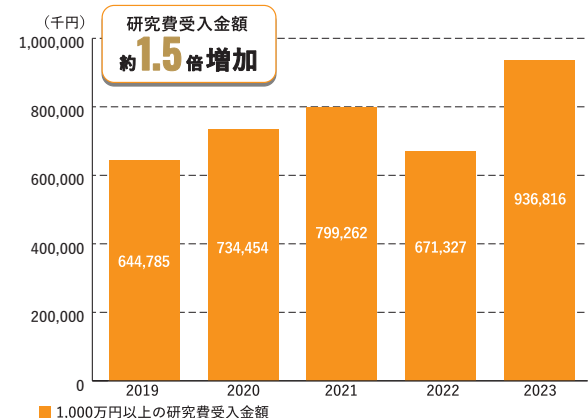
外部資金獲得額

共同研究費受入金額

企業や他機関との共同研究費として外部から受け入れた金額は、社会からの研究ニーズの大きさ、産学連携の実質的な規模、研究成果の社会実装・実用化への近さ、研究者・組織の信頼性・実行力を評価する指標としても扱われ、過去5年間で約1.5倍に増加しています。

2019年
644,785千円

2023年
936,816千円



未来を先導する世界トップレベル大学院教育 拠点創出事業

「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界的大学院教育拠点形成 ～日本のイノベーションを推進する

リーダーとなる博士人材の育成～

持続可能な発展を導く先導人材育成プログラム

広島大学大学院教育推進機構による徹底した大学院 システム改革

▶ 徹底した組織マネジメント改革

- ▶ 「教育・国際・産学・地域連携」を連動させる組織横断型マネジメント
- ▶ 大学院を統括する組織縦断型マネジメント
- ▶ 博士課程教育体制の充実に向けた人材マネジメント(博士課程教育重点教員制度の全学実施)
- ▶ 学部から大学院へ資源のシフト



▶ 世界をつなぐ国際拠点形成 ASEAN・南アジア・アフリカと欧米をつなぐ国際ハブ大学

- ▶ 研究室単位の海外サテライトラボの形成
- ▶ 若手教員+博士学生の派遣と受入教員の招致による国際的人材循環の実現
- ▶ 国際的大学・大学院接続プログラムの拡大によるASEAN・南アジア・アフリカの留学生獲得
- ▶ Town & Gown構想による留学生博士人材を対象とした地域定着型キャリア形成プログラムの実施



▶ 徹底した産学連携教育と出口開拓 Industry Advisory Boardとの共創

- ▶ 博士学生と各参画大学の企業等ネットワークを活用したコミュニティ形成
- ▶ 研究指導教員とモデレーター(博士人材力指導者)のダブル指導体制による博士人材育成
- ▶ 大学や研究科等を越えた異分野の博士学生が共学するイノベーションクラスでのPBLの実施
- ▶ 社会人博士の学び直しを支援する2つ目博士号取得を促進するプログラムの実施



博士人材の多様なキャリアパスに対応したキャリア別教育プログラムの展開

世界トップレベル
研究者

研究マネジメント
人材

高度専門
人材

大学/研究機関

大学/政府機関/
コンサル企業

企業/政府機関/
自治体

日本のイノベーションを推進するリーダーとなる博士 人材の輩出



ダブル指導体制

研究指導教員に加え、企業の人事部経験者、研究所の幹部経験者、起業家など、多様なバックグラウンドをもつモデレーターが直接指導し、博士人材力(トランスファラブルスキル)を育成。入学から修了まで学生に寄り添い、実践的な視点から継続的に伴走支援を行います。

異分野連携イノベーションクラスによるPBL (課題解決型学習) 必修

モデレーターが学生それぞれの専門性をふまえて特別クラスを編成。複数分野の学生がワンチームとなってPBLに取り組みます。「異分野の博士との人脉形成」や「多角的な視点形成」によって課題解決能力を育成します。

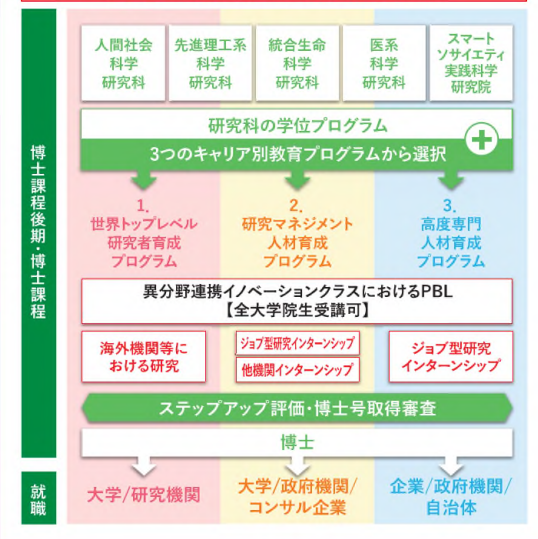
目的別インターンシップ 選択必修

学生一人ひとりの専門性と興味に寄り添った派遣先をマッチングするために、指導教員とモデレーターで構成される指導教員グループを編成。学生の希望や将来像もふまえて相談を重ね、最も適した派遣先を決定します。

研究指導教員とモデレーターによるダブル指導体制

モデレーター: 企業の人事部経験者、研究所の幹部経験者、地方自治体や政府機関出身者、起業家、URA等

留学生への日本語・日本文化教育(入学前)



WE CAN INNOVATE

イノベーションを推進する 博士人材の育成

教師教育の発展をめざし、
教員の労働環境を考究。



金城美紀 ▶人間社会科学研究科
▶博士課程後期1年

教員が学習指導と生徒指導を行い、児童・生徒の全人的な完成を目指す「日本型学校教育」が国際的に大きな評価を受ける一方、学校や教員の役割が拡大し、教員の長時間労働問題が顕在化しています。教員の労働条件は、子どもの学習環境の質を向上させ、子どもの教育を受ける権利を保障する上で重要な論点です。以上のことから、学校教育の最も基本的な教育条件である教職員について、学級編制および教職員定数算定における国一地方の役割分担等に着目し、わが国における教職員配置に関する政策の在り方を展望するための研究を行っています。

持続可能な農業技術の
開発に貢献したい。



李佳程 ▶統合生命科学研究所
(中国出身) ▶博士課程後期3年

イネの生理学的・分子生物学的側面から、低カリウム耐性獲得のメカニズムの解明を進めています。この研究成果は、持続可能な農業技術の開発に大きく貢献し得るものです。これまでに査読付き学術論文3報を発表するなど、研究者としての実績を積んできました。修了後は、研究開発エンジニアとして日本の企業に入社予定です。博士課程では最先端の専門知識と高度な課題解決能力を身に付け、企業のR&D部門で応用し、技術革新や新製品開発を牽引したいと考えています。アカデミアでの知見を社会実装し、産業界の発展に貢献することが目標です。

宇宙起源にアクセスして
新しい価値創造を。



栗田峻輔 ▶先進理工系科学研究科
▶博士課程後期1年

スイスとフランスの国境を跨ぐ位置にあるCERNで実験を行っています。光速近くまで加速した粒子を衝突させることで、人工的にビッグバン直後の高温状態を作り出し、その性質を研究しています。この研究は、私たちの周りにある物質がどのようにできて今のようになったかという根源的な問いに答えるものです。人の手で宇宙開闢(うちゅうかいびやく)の状態にアクセスできる魅力を感じています。修了後は、民間企業の研究開発職に進むことを考えています。博士課程では専門性や課題設定力・分析力を身に付け、新しい価値を生み出す研究に携わりたいです。

科学技術やイノベーションの
推進に寄与したい。



藤原千穂 ▶医系科学研究科
▶博士課程1年

私は、ゲノムDNAにおける遺伝子変異の生成メカニズムに関心を持ち、研究を進めています。ヒトには遺伝子変異を防ぐための高度な防御機構が複数備わっていますが、時にそれをすり抜けて変異が生じ、疾患の原因となります。特にがんをはじめとする多くの疾患は、変異の蓄積が病態形成に深く関与しており、その形成メカニズムの解明は、新たな治療法や予防戦略の開発に直結すると考えられます。博士号取得後は、多様な解析ツールを活用しながら最先端技術を習得し、研究の最前線で新しい事実の発見や革新的な手法の開発に取り組みたいです。

WE CAN INNOVATE

博士人材の知識とスキルが、 未来を動かす即戦力に！

【広大出身の博士人材に聞く】

研究分野の専門性を極める経験を未来への礎に！

塩野義製薬株式会社

◆博士課程在籍中には、専攻する研究分野において、世界トップレベルの専門性を習得していただきたいと考えています。その上で、自ら研究課題を設定し、研究計画を立案・実行できる力を養ってください。さらに、チームをまとめて研究を推進する経験や、海外研究者との共同研究をリードした経験があればより望ましいです。◆博士課程修了者には、入社後早い段階から研究リーダーとして活躍していただくことを期待しています。そのためには、短期間で一定の専門性を獲得できる能力に加え、複数部門にまたがる研究プロジェクトを主導できる素養が重要です。◆現在取り組んでいる研究分野については、世界トップクラスの研究者と対等に議論できるレベルの専門性を獲得してください。また、異分野の研究者とも積極的に交流し、新しい視点を自身の研究に取り入れることを常に意識してください。その際、新たな共同研究を自ら企画・提案することにも積極的に挑戦してほしいと考えています。◆後輩や共同研究者を含めた研究プロジェクトをいかに円滑に進められるかは重要な能力です。プロジェクトリーダーの機会を得た際には、是非プロジェクトマネジメントについて学ぶ機会としてください。



執行役員
信頼性保証本部長
広島大学博士(薬学)
塩田武司氏

【東広島市の広大メインキャンパスに近接するグローバル企業に聞く】

高い目標に挑戦し続ける姿勢と実行力に期待！

マイクロンメモリ ジャパン株式会社



HVM Senior Director
金子幸治氏

◆半導体産業のようにグローバル競争が激しい業界では、高い目標に挑み続ける姿勢と実行スピードが求められます。当社においても、目標を追求する上で、自己規律とチームマネジメントの両方を重要視しています。◆博士課程の皆さんに期待するのは、自分の役割を認識し、主体性をもって取り組むことと、チームを率いるリーダーシップです。個人への期待値と実際の能力にはギャップがありますが、より高い学位を持つ人ほど、そのギャップが小さくなる傾向があると感じています。専門知識や幅広い知識の習得に加えて、それを活用して実行する能力を身に付けることを心がけて研究に励んでください。その能力は分野を問わず普遍的であるはずで、◆企業での博士人材の需要と活躍の機会はますます増えていくと思います。企業に入ってから新しい知識を学び続ける必要があり、多様な課題に対応していくことが求められます。博士課程で身に付けた知識や能力を、特定分野に限定せず社会で発揮していくには、ある種の「起業家精神」が重要です。在学中に学内外の多くの方と接点を持ち、視野を広げてください。当社もいろんな方法で皆さんのサポートをしていきたいと考えています。

WE CAN INNOVATE

グローバルな総合知で ひらく、持続可能な未来

中国古典研究で培った
専門性を教育の現場へ。

吉岡佑馬

- ▶ 人間社会科学部研究科 2024年度修了
- ▶ 都城工業高等専門学校 助教



現在は、宮崎県都城市の高等専門学校で、国語・文章表現・中国語などの授業を担当しています。また、2年生のクラス担任も務めています。博士課程では、中国古典の注釈書を主な研究対象としてきました。特に、注釈者が「なぜそのように古典を解釈したのか?」という点に着目し、当時の思想的背景や社会状況との関係を踏まえながら考察を行ってきました。現在も教育活動と並行しながら研究を継続しており、博士課程時代に培われた論文作成能力や研究者としての基礎力は、現在の教育・研究活動の両面においても大きな支えとなっています。

広く聴き、深く向き合う。
対話力こそ、わが財産。

毛月

(中国出身)

- ▶ 人間社会科学部研究科 2023年度修了
- ▶ 広島大学 特任学術研究員(特命助教)



博士課程時代に取り組んでいたのは、子どもに「死の教育」を行うことで、命を大切にすることを学ぶプログラムの開発です。研究は「構築→問題発見→再構築」を繰り返す営みであり、問題に向き合い続ける胆力と改善力を培うことができました。中国に「偏聴則暗、兼聴則明(偏って聞けば見誤り、広く聞けば明らかになる)」という言葉がありますが、自分の専門領域を越えて、関連分野の研究者らと継続的に対話することの重要性を体感しました。こうした力は、博士課程に限らず、現在の業務においても協働や合意形成の基盤として大いに活かしています。

大規模データ分析を
社内の意思決定につなげる力。

Nawras Nazar Khudhur

(イラク領クルディスタン出身)

- ▶ 先進理工系科学研究科 2024年度修了
- ▶ マツダ株式会社 データサイエンティスト



現在は、大規模な業務データや生産データを分析し、社内の意思決定に役立てる業務を担当しています。博士課程で得た論理的思考力やエビデンスに基づいて分かりやすく説明する力は、現在の仕事に大いに活かされています。学位論文や学術論文の執筆を通じて、結果だけでなく前提や制約を整理して伝える方法を学びました。特に「この結果が意味すること/しないこと」を明確に説明する姿勢は重要だと感じています。また、研究発表や質疑応答の経験は、部門横断的な議論においてより効果的にコミュニケーションを行う助けとなっています。

強誘電体研究で培った力を
次世代エネルギーへ。

中平夕貴

- ▶ 理学研究科(現先進理工系科学研究科) 2020年度修了
- ▶ 広島大学先進理工系科学研究科 助教



博士課程時代は、セラミックコンデンサや強誘電体メモリなどに利用される強誘電体材料に関する研究を行っていました。それらの研究を通して習得したのは、論理的思考力やデータ解析能力、コミュニケーション力。現在は大学で水素社会の実現に向けた基礎研究として、新規水素化合物の探索研究を行っています。研究対象は大きく変わりましたが、博士課程時代に学んだ結晶構造に関する知識や結晶構造解析の技術が現在の自身の研究の土台となっています。また、学会発表を通して学んだプレゼンテーション力も非常に役立っていると感じています。

データ駆動型環境で生きる
博士課程時代の学び。

Tetty Afi Pamela

(ガーナ出身)

- ▶ 統合生命科学部研究科 2024年度修了
- ▶ マイクロンメモリ ジャパン株式会社 エンジニア



博士課程では、ユスリカ属の幼虫の研究を行っていました。複雑な実験設計やトラブルシューティングを通じて、問題解決能力と論理的思考力を培いました。特に大規模データセットを用いた高度なデータ解析を経験し、予期せぬ結果から根本原因を特定する手法を学びました。また、定期的な報告やプレゼンテーションを重ねることで、細部への注意力、品質志向、そして明確なコミュニケーション能力を強化しました。これらのスキルは、マイクロンメモリ ジャパンのデータ駆動型×精密志向×協働的な職場環境に必要な不可欠な助かっています。

社会人博士課程で磨いた
専門性を商品開発に活かす。

壺井雄一

- ▶ 統合生命科学部研究科 2021年度修了
- ▶ 花王株式会社 特定テーマリーダー



ハウスホールド研究所で、衣料用洗剤の開発に携わるとともに、研究開発DXの推進を担当しています。社会人博士課程時代は、サステナブルな社会に貢献する微生物の研究(ゲノム編集技術)に取り組んでいました。社会人経験を経た後で改めて学ぶと、自身に必要な能力が明確で、データ解析に必要なPythonやRを学べる講義を積極的に受講しました。広島大学という最先端の知の場で培った専門知識やデータサイエンス、論理的思考力や課題発見力・解決力は、現在の基礎研究やDX推進、生活者視点の商品開発に大きく活かされています。

多分野横断の経験が、
研究を体系的に捉える力に。

野口(寺井)はるひ

- ▶ 医薬薬保健学研究科(現医系科学研究科) 2021年度修了
- ▶ 久光製薬株式会社 研究員



博士課程時代は、てんかんや片頭痛に対する新しい薬剤をハイスループットにスクリーニングするための試験系構築に関する研究に取り組んでいました。私が行っていた実験は、脳波記録用電極の作製から、電気生理記録および解析、分子生物学的な解析まで、幅広い分野の知識・技術が必要でした。現在は久光製薬株式会社で新規製剤開発のための基礎研究を行っています。実験技術はもちろん、他者に伝わりやすいスライド作成や発表方法、プログラミング能力、英語力など、博士課程で培ったスキルは、現在の業務においても大いに役立っています。

大学院時代に養ったプレゼン
テーション能力を糧に。

佐々木由布

- ▶ 医薬薬保健学研究科(現医系科学研究科) 2023年度修了
- ▶ 国土交通省中国地方整備局 河川部地域河川課 計画係長



博士課程時代は、臓器移植を受けた患者の免疫抑制剤投与量変化に関する研究を行っていました。現在は、国土交通省の地方分局で、管区内にある各県の補助金・交付金の申請、自然災害発生時の防災業務等を行っています。今の業務は、事業で予算を必要とする理由を説明する機会が多くあります。事業内容は研究分野と異なりますが、相手に言葉で説明して伝えて納得を得る必要がある点は同じです。大学院の色々な場面で発表する必要があったことは、プレゼンテーションの能力を高めてくれたという意味で、大いに役に立っていると考えています。

〔 広島大学の博士人材支援制度 〕

中国四国地域最大級の支援枠 /

広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)

本学では、科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)」の採択を受け、より多くの博士課程後期学生に対して経済的支援 (生活費相当額の研究専念支援金と研究費の支給) を行い、学生が安心して研究に集中できる環境を整えています。また、海外研究機関への研究留学や共同研究創出の機会提供、トランスファラブルスキルの習得、キャリア開発・育成に係る取組など様々な支援を実施しています。

【支援枠数】
年間
379
人



詳しい情報は
こちら!



SPARK! Plan

本学は、大学入学前の高校時代から、研究者としてのキャリアを形成していくために、様々なサポート (研究環境整備 / 研究活動支援 / キャリア形成支援 / 進路選択支援 / 経済支援 / 雇用支援 / 仕事と家庭の両立支援など) を行っています。

教授
准教授
助教
ポスドク
博士学生
修士学生
学部生
高校生

詳しい情報は
こちら!



- キーワード
- S... Smile... 学生やアカデミアを「笑顔にする」
 - P... Pave... 大学院生・研究者への道を「整備する」
 - A... Advise... 大学院・研究者を志す者へ「アドバイスする」
 - R... Rally... 支援・制度・アイデアを「結集する」
 - K... Kindle... 研究者に対する興味と情熱を「かき立てる」



広島大学グローバル博士フェローシップ制度

本学では、2026年度から新たに、博士課程後期に入学する外国人留学生に対して経済的支援を行う、「広島大学グローバル博士フェローシップ制度」を創設しました。外国人留学生が安心して研究に集中できる環境を整え、日本の将来の科学技術・イノベーションに貢献し、世界の未来を担う人材に育てるための制度です。採択された学生は研究員として雇用し、給与及び研究費を支援します。



詳しい情報は
こちら!



〔 広島大学の事業採択実績 〕

中国四国地域唯一 /

「世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)」

生命と素粒子・宇宙の「キラリティ (対掌性)」の謎に挑む「持続可能性に寄与するキラルノット超物質拠点」が、中国四国地域の大学で初めて、文部科学省の「世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)」に採択されました。多分野の研究者が連携して、新たな学術分野を確立。先進医療分野やエネルギー分野のイノベーション創出をめざしています。



詳しい情報は
こちら!



中国四国地域唯一 /

大学・高専機能強化支援事業

「高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援 (ハイレベル枠)」

本学の「高度な学術研究や専門知識に裏打ちされた研究・開発能力を持ち、デジタル技術開発やDXの推進を力強く牽引する高度情報専門人材の育成」が、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の「令和5年度大学・高専機能強化支援事業『高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援 (ハイレベル枠)』」に中国四国地域で唯一選定されました。今後、大学院の情報系の定員を増員し、中国四国地域で最大規模の大学院課程を構築します。



詳しい情報は
こちら!



「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)」

放射光による物質の見える化技術を核とした半導体・超物質及びバイオ領域融合型産業集積エコシステムの実現

本学は、日本全体の研究力向上を牽引する「地域中核大学」として、文部科学省の「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)」に採択され、放射光による可視化技術を核に、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとなる異分野融合エコシステム (Hiroshima Research Innovation Valley: Hi-RIV) を形成し、国際脳循環・産業集積を促進します。



詳しい情報は
こちら!

